

都市づくりフォーラム 第2回

都市づくりトピックス

「美しい都市」へ向けて...景観について考える

幕末から明治にかけて日本を訪れた外国の人々は、四季折々に移ろう日本の景観を激賞したといえます。しかし現在、日本の多くの街では電線類や乱立する看板など、雑然とした景観が見受けられ、美しさとはかけ離れた風景が広がっています。こうした人工景観は、ヨーロッパの都市と比べると著しく見劣りします。国も、このような状況をふまえて、従来の経済効率一辺倒の施策を改め、「美しい国づくり」へ向けて舵をきりました。そのひとつが、今国会で成立した「景観法」です。この法律は、市町村による景観計画の作成や、建物のデザインや色彩を規制することができる景観地区制度などを盛り込んだ、景観を守り育てる法律です。

羽生市のまちづくりの設計書である羽生市総合振興計画は、羽生市の将来像を「強く、やさしく、美しい都市へ」と掲げています。田園風景や屋敷林など、羽生市にも誇るべき美しい景観があります。観光資源としても活用できると思います。羽生市の財産ともいえるこれらの景観を後世に伝えていくためにも、何かできることはないかなと考えています。

羽生のいいところミーツケ

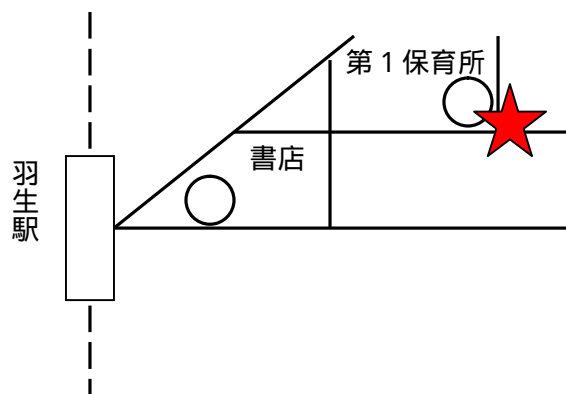
<今回の羽生のいいところ>

路地シリーズの2回目は、子供たちの笑い声がこだまする「保育所通り」(いいところミーツケ隊?命名)をご紹介します。

ここは中央一丁目、羽生駅のすぐそばにある第一保育所付近です。飲食店が建ち並ぶ表通りから一步入ったそこは、まさに子供の樂園。昔ながらの家並みとそこに住まう皆さんが、元気に駆け回る子供たちの成長をあたたく見守っています。人の温かみにあふれているのも路地の特長かもしれません。(…子供たちが帰ったあとは、帰宅前に一杯ひっかけのお父さんたちの通り道です。)

最近、都市の中のコミュニティが薄れてきているとよくいわれます。こういった路地でコミュニティが育まれるのではないのでしょうか。

このような路地を大切にしていくことも、都市づくりにとって重要なことだと思います。



市民フォーラム

ご意見募集中です！

「歩道の段差が大きくて歩きづらい」「道路が狭くて危険」「公園にもっと花がほしい」など、日々の生活の中で感じる都市づくりについての疑問、質問などお気軽にお寄せください。お待ちしております！（匿名でもけっこうです。）

市民フォーラムへのご意見やいいところミーツケへの情報提供先は

都市計画課（内線 275）

FAX 561 - 6380

email toshikei@city.hanyu.lg.jp